

北海道議会議員
Go forward 北海道 たけだ 浩光 道政通信

所属会派：民主・道民連合

住みやすい『西区』、そして『北海道』をめざします!

発行：たけだ浩光政務事務所 〒063-0811 札幌市西区琴似1条7丁目1-35 ☎011-624-8030 FAX 011-624-8031



R6年度北海道予算 5.25(sat.) 14:00 を中心に 道政報告

ところ：八軒会館1階ホール（西区八軒1条西1丁目）



八軒会館での様子

2024年度1回目の「たけだ浩光の道政報告会」を開催しました。70名の参加をいただき、盛況にうちに終了することができました。お忙しい中、土曜日にもかかわらず多くの皆様方に足を運んでいただき、誠に感謝しております。ありがとうございました。

まずは、主催者挨拶の後、中村たけし札幌市議会議員と定森ひかる札幌市議会議員の来賓挨拶を受け、続いておおつき紅葉衆議院議員と道下大樹衆議院議員から国会の現状を含め国政報告をいただきました。その後、武田道議会議員の方から、「令和6年度北海道予算」、「所得税負担率の実態と疑問」等について報告をさせていただきました。最後に、武田道議の出身組織であります全北海道庁労働組合連合会の蒲地中央執行委員長から、皆様へお礼の挨拶をいただき終りました。お越しいただきました、全ての皆様へ改めて感謝を申し上げます。ありがとうございました。

政 報 告

“たけだ”の主張

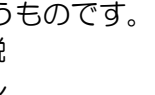
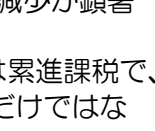
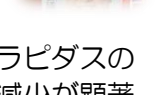


令和6年度の北海道の予算は、3兆215億円です。これを自主財源と依存財源に分けると、自主財源47.2%、依存財源52.8%になります。自主財源の主たるものは、道税収入で6456億円。一方、依存財源は地方交付税6340億円、道債5275億円で、道の予算がいかに国や借金に頼っているかがわかります。したがって、歳出予算も過去の道債の返済に6764億円が充てられています。日銀の金利見直しにより、実質公債費比率は今後20%を超える予想であり、すでに18%を超えている現時点でも、道債の発行に総務省の許可が必要であるのに加え、早期健全化基準の25%を超えると道独自政策ができなくなってしまいます。つまり、北海道の財政を健全化する上で、自主財源の道税収入の比率を上げることは喫緊の課題と言えます。税収入には、法人税と個人所得税があります。法人税収を上げるには、会社の業績が伸びたり、新たに企業が道内進出してくれることで達成できます。その意味では、ラピダスの千歳進出は期待が持たれるところです。個人所得税についてはどうでしょうか。人口減少が顕著なこのご時世では、所得税の増収は望めそうもないところです。

しかし、実際には、所得税収「1億円の壁」というものがあります。これは、給与所得1億円までは累進課税で、所得税率の負担が増えていきますが、1億円を超える所得を手にする超富裕層は、所得を現金給与だけではなく株式譲渡所得などで受けているため、負担割合が給与所得1億円の人よりも低くなっているというものです。



当初、岸田首相は「成長と分配」を掲げ、こうした超富裕層からの税収を引き上げるため、株式譲渡に対してもっと効率の税負担率を提案しようとしたが、市場関係者など株取引で利益をあげている人々からの反対で、頓挫してしまいました。自民党政権が続く限り、こうした状況は変わらないと考えます。今こそ政権交代が必要なのではないでしょうか。自主財源を増やしていくためには、政府の協力も不可欠です。道だけではなく、道内の全ての自治体が自主財源を増やすための努力をしています。この紙面だけでは全てをお伝えすることができません。ぜひ一度、報告会にお越しください。



中央要請 総務委員会副委員長として行ってきました 2024.5.14 (火) ~15 (水)

昨年に引き続き、北海道議会総務委員会副委員長として、令和7年度（2025年度）国の施策及び予算に関する提案・要望書を総務省へ提出してきました。

北海道東京事務所をはじめ、各議員会館など関係各所を訪問しながら、総務省へ各関係省庁に対する「国の施策及び予算に関する提案・要望」を提出・要請してきました。



衆議院会館から見た国会議事堂



北海道東京事務所

【要望内容】

- ◎大規模・広域災害等に備えた体制の充実・強化・・・消防庁無償使用ヘリの北海道地区への配備など
- ◎日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の地震津波対策の推進・・・積雪寒冷地特有の課題も含めた補助制度等の運用及び予算の確保など
- ◎防災・減災対策の推進・・・防災・減災、国土強靱化に必要な予算の確保や地方負担の軽減化など
- ◎国際情勢を踏まえた万全な危機対応・・・ロシア軍への警戒監視や北朝鮮に対する毅然とした外交など

- ◎原子力発電所の安全対策及び原子力防災対策の徹底・・・安全対策の徹底と防災対策の充実・強化
- ◎地方行財政の安定的な運営の確保・充実・・・地方交付税をはじめとする一般財源の増額確保など

第78回十勝放射線技師会定期総会 に特別講師として呼ばれました

と き：2024. 3. 30 (土) 15:00～

ところ：帯広協会病院3階講堂（帯広市東5条南9丁目2番地）



「十勝放射線技師会」から依頼を受け、上記日程で講演会講師として講演してきました。自分の元職でもあります放射線技師の皆様と、久しぶりにお会いでき懐かしさもひとしおでした。

講演としては、診療放射線技師が道議会議員になって、これまでの5年間で一般質問や委員会質問の内容や、道政における医療課題解決に向けた話など、更にはこれからの議員活動のめざすこと・・・そしていつまで？など、あっという間の講演時間で終了しました。十勝放射線技師会の皆様、貴重な機会を頂きありがとうございました。

《お知らせ》

なお、次号の道政通信第32号から、またシリーズ企画ものを掲載する予定です。おたのしみに。

ただだ浩光プロフィール

【すまい】西区西野（在51年）

- 1960年 江別市生まれ
その後、すぐ札幌へ
- 1979年 北海道立札幌西高等学校 卒業
- 1980年 北海道大学水産学部 中退
- 1985年 北海道大学医学部附属
診療放射線技師学校 卒業
- 1985年 札幌医科大学附属病院勤務
- 2019年 北海道議会議員 初当選
- 2023年 北海道議会議員 二期目当選

〒063-0811

西区琴似1条7丁目1-35 さんぱちビル2階

TEL:(011)624-8030

FAX:(011)624-8031

e-mail : info@takeda-hiromitsu.com

ただだ浩光オフィシャルWebサイト



ただだ浩光

検索

オフィシャルWebサイトで道政通信のバックナンバーがご覧になれます

